

## 感染性胃腸炎の発生予防について

感染性胃腸炎は、例年 11 月から翌 3 月にかけて、特に流行する疾患です。毎年、市内の医療機関でも入院患者が集団感染する事例が報告されています。

院内における集団感染防止の為に、下記の点についてご注意ください。

### 主なノロウイルス感染予防策

- 1.職員及び入院患者の手洗いの励行(個人感染対策の徹底)
- 2.「標準予防策」と「接触感染予防策」に基づく予防対策の実施
- 3.手洗いの基本の徹底

石鹸等流水での 30 秒以上の手洗いを実施する。

- 4.嘔吐物・排泄物の処理・消毒の徹底

ディスポーザブルのマスクと手袋とガウンを使用する。吐物は、次亜塩素酸ナトリウム 1000ppm(0.1%)を浸したペーパータオル等で包み込むように静かに拭き取り、残り及びその周辺は次亜塩素酸ナトリウム 200ppm(0.02%)を浸したペーパータオル等で拭き取る。

汚染物の処理にあたっては、基本的にディスポーザブルの清掃用具を使用する。また、処理時に着用したものは、処理終了後直ちにビニール袋で密封して廃棄する。処理終了後の手洗いを徹底する。

- 5.換気

十分に換気を実施する。(嘔吐後の部屋、トイレ、廊下等)

- 6.入浴

感染の疑いのある人は、最後に入浴するか、シャワーのみにする。

- 7.食品調理時の衛生管理の徹底

調理の十分な加熱、調理器具・機械の洗浄消毒等を徹底する。

- 8.手に触れる場所や身のまわりの物の清潔と消毒(環境消毒)

直接手を触れる場所は次亜塩素酸ナトリウム 200ppm(0.02%)で消毒する。

- 9.日頃からの健康管理

感染や感染拡大を防ぐには、早い段階でノロウイルスの感染が疑われる入院患者、職員を把握すること、また見舞い客などによる院外からのノロウイルスの持込に留意することが重要。

# 感染性胃腸炎の発生予防について

## 【関係情報】

### 1 ノロウイルス院内感染チェック項目(別紙)

### 2 厚生労働省

- ノロウイルスに関するQ & A

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf>

- ノロウイルスの検出法について

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/kanshi/031105-1.html>

- 食中毒・食品監視関連情報

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/index.html>

- 高齢者介護施設における感染対策マニュアル

<http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/osirase/tp0628-1/index.html>

### 3 国立感染症研究所感染症情報センター

- 感染症の話 ノロウイルス感染症

[http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k04/k04\\_11/k04\\_11.html](http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k04/k04_11/k04_11.html)

- ノロウイルス感染症とその対応・予防(医療従事者・施設スタッフ用)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html>

### 4 熊本市感染症情報センター

<http://www.city-kumamoto-kansen.jp>

問合せ先:熊本市保健所 地域医療課 364 - 3186 感染症対策課 364 - 3189